

新規

研究



# 題目：代謝産物センサー分子を標的にした創薬に向けて の分子構造学的調査

TK23-034

調査研究代表：筑波大学 所属 医学医療系 氏名 関谷 元博

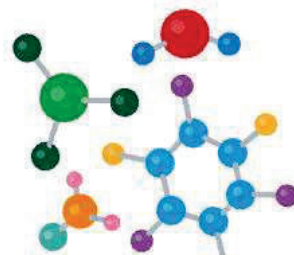
・代謝産物センサー分子の活性化を新しい画期的な創薬につなげるため、構造的基盤を得るための調査を行う。

筑波大学  
関谷 元博

タンパクレベル  
での機能解析

高エネルギー加速器研究機構  
加藤龍一

細胞、個体レベルで  
の機能解析など

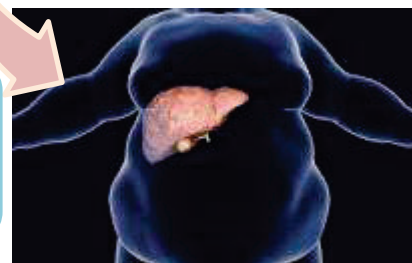


結晶構造解析を中心  
とした構造学的検討

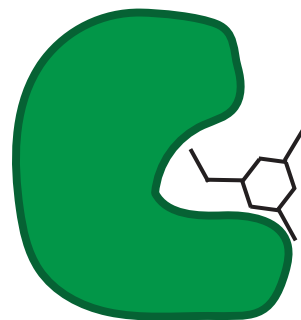
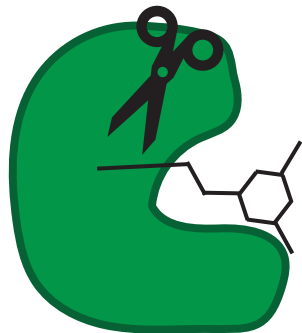
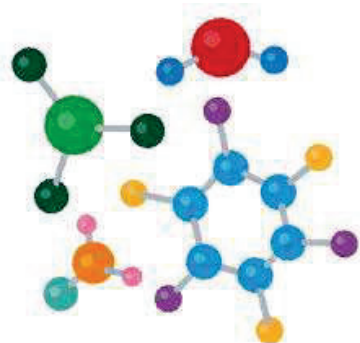


筑波大学  
University of Tsukuba

画期的な代謝疾患  
治療薬の創出



IMAGINE THE FUTURE.



化合物と標的分子  
の構造情報の調査

構造の最適化による  
臨床応用への展開

画期的な代謝疾患  
治療薬の創出

### 【年間活動計画】

6-11月 代謝産物センサー分子と化合物の相互作用の詳細な調査

12-3月 同分子と化合物の構造解析

- 本調査は新しく、かつ病態の中核を標的にしている治療である可能性が高く、これまでに十分に治療効果を発揮しえなかった代謝疾患治療に画期的な治療薬の創出につながる可能性がある。
- 代謝疾患治療を超えて領域横断的な効果が期待される。
- 有望な若手研究者が主軸となって、かつ主体的に開発する研究で育成面でも成果が期待される。